

ナイスケアだより

第146号

令和6年7月発行

私の家がある埼玉県川口市は江戸時代から伝統がある植木の盛んな地域です。特に川口安行は盛んで植木屋さんが何軒も立ち並んでいます。先月川口安行にある「道の駅」に立ち寄った際に盆栽展示コーナーがあり眺めている内に、日本独自の「わびさび」を感じてしまい盆栽を育ててみたい気持ちになりました。すぐに盆栽専門の植木屋さんを回り、格安の値段で若い元気の良い黒松の盆栽を購入しました。購入し満足したのは良かったのですが、草花にはほとんど興味がなく育て方がわからない状況でした。お店の人のアドバイスやSNSで調べて水やりの仕方、日当たりの管理、肥料など学習しました。黒松は6月から7月にかけて芽の剪定の作業が必要となります。先日その芽切りの作業をチャレンジしました。どの芽をカットすればよいか、枝をどう残



すかなど素人なので判断がつかなく大変でしたが何とかやりきることができました。

まだ購入し育て始めたばかりですが、毎日朝夕の水やりをしながらじっと眺めていると愛着がわき気持ちが癒されます。皆様も好きな草花の栽培をし気持ちを和ませ癒されてみてはいかがでしょうか。



有限会社ナイスケア 代表取締役 塩川 隆史

～江島杉山神社～

先日、墨田区両国にある江島杉山神社へ行き、杉山和一検校(1610～1694)を偲ぶ会へ参加して来ました。

杉山神社には杉山和一が祀られています。杉山和一は幼少時に失明してしまい、いくつかの仕事をしましたが、上手く習得できず、その後鍼の仕事に就くがこれもまた上手くいきませんでした。そこで、神奈川県江の島の江島神社の洞窟(岩屋)に籠って21日間の断食をします。断食を終えて洞窟から出た時に転んでしまいました。その時、足に刺さったとがった松葉が筒状の葉に包まれていた事から管鍼法という刺し方を発明しました。この管鍼法だと視力障害の方でも鍼を打てますし、打った時の痛みが緩和されます。現在はこの管鍼法が主流です。この事から両国の江島杉山神社は江の島の江島神社から分祀されました。当時の五代将軍徳川綱吉は視力に障害があっても収入が得られる様に職業支援(芸事、音曲、箏、三味線、鍼など)をされていました。現在の福祉政策のさきがけであったと思います。

世界的にノーマライゼーション(福祉政策)が始まったのが1950年代ですから日本ではその300年前から取り入れていたんですね。

井森 和男